

学校施設の有効活用について

令和 8 年 2 月 神戸市教育委員会

1. アンケート結果の報告
2. 有識者会議の意見まとめ（案）

アンケート結果の報告 — 概要 —

開放運営委員会アンケート

I.目的

開放運営委員会の運営実態の把握
(公平性の確保・透明化)

II.実施時期

令和7年12月

III.回答数

開放運営委員会：166団体

学校アンケート

I.目的

開放運営委員会への関り方の把握

II.実施時期

令和7年12月

III.回答数

学校：176校

ICTモデル実施アンケート

I.目的

ICT運用に係る効果検証と課題

II.実施時期

令和7年12月

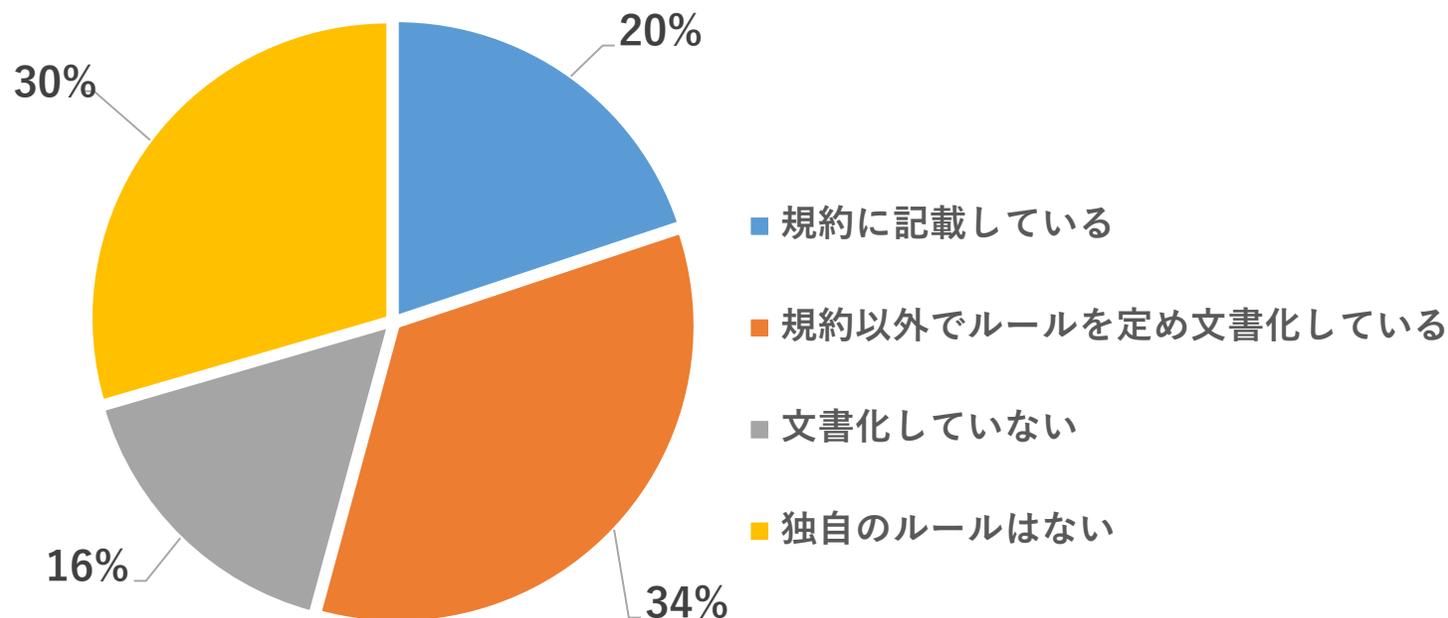
III.回答数

開放運営委員会：8校

開放運営委員会アンケートの結果

独自ルールの有無及び文書化（開示）

70%の開放運営委員会が「独自ルール」を設定。また、16%が文書化していない

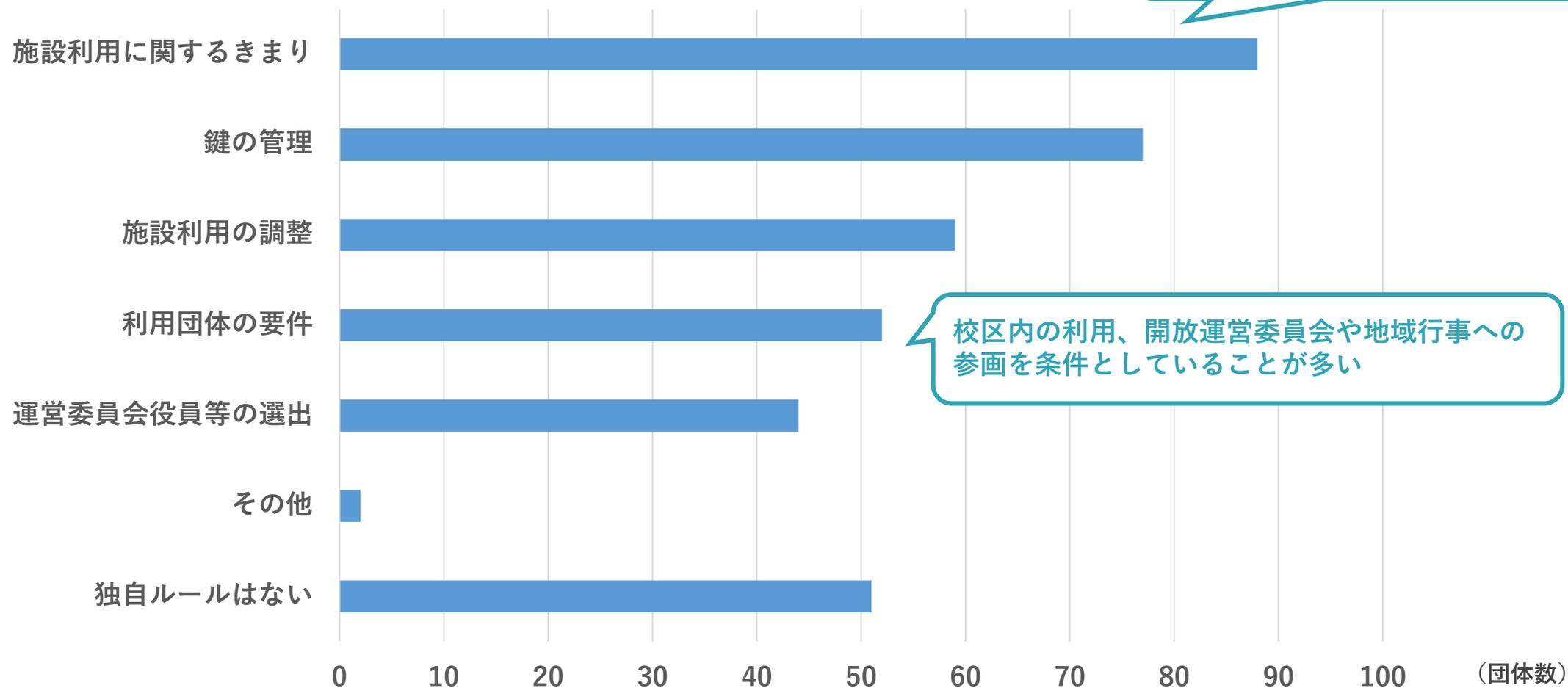


市で定めているルール

- ・ **3人以上**で構成される団体
- ・ 代表者が**満18歳以上**（高校生除く）
- ・ 構成員の**半数以上が市内**に在住・在勤（在学）
- ・ 学校施設開放事業の趣旨に沿った活動

開放運営委員会アンケートの結果

開放運営委員会での独自ルールの設定



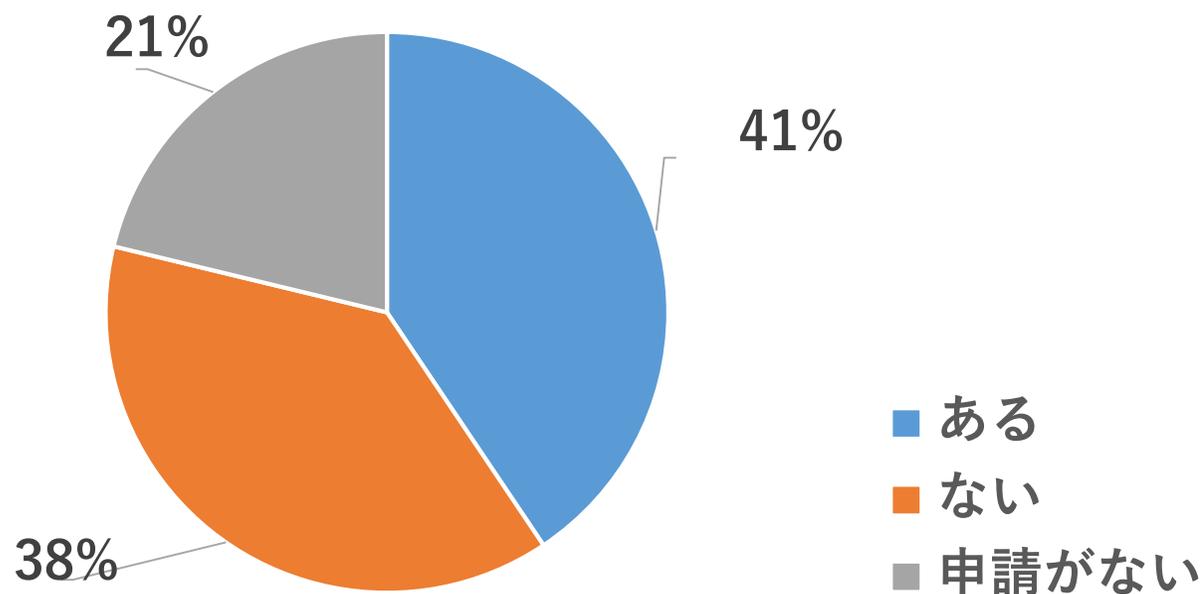
凡例の主な内容

- 施設利用に関するきまり（利用施設、利用時間（下校時間）、駐車場利用 など）
- 鍵の管理（鍵の受け渡し方法、鍵の複製 など）
- 施設利用の調整（優先順位の考え方、毎月の利用申込手続き など）
- 利用団体の要件（居住地、開放運営委員会への参加、地域行事への参加 など）
- 運営委員会役員等の選出（役員決定方法 など）

開放運営委員会アンケートの結果

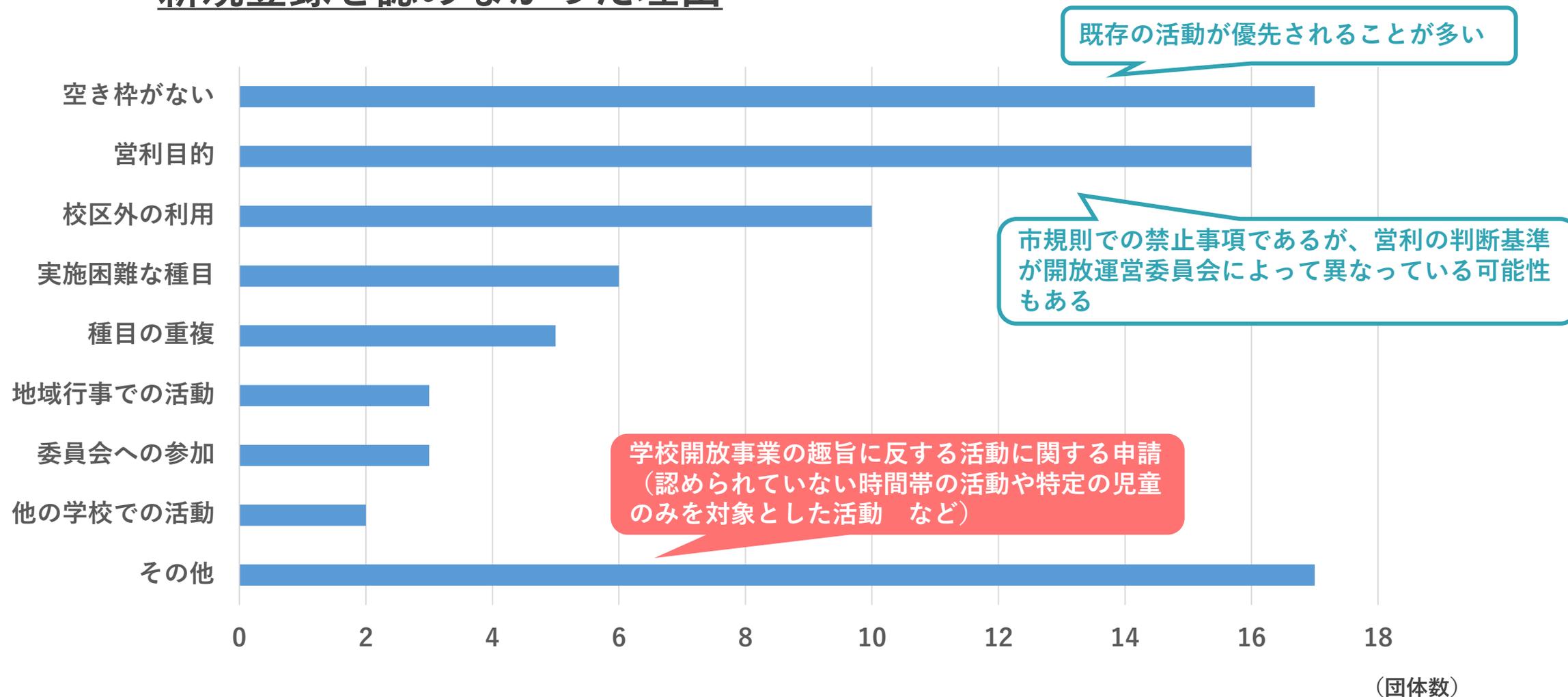
新規登録を認めなかった事例

約**80%**の開放運営委員会が新規登録の申請を受けているが、その**半数**が新規登録を認めなかった経験がある



開放運営委員会アンケートの結果

新規登録を認めなかった理由



開放運営委員会アンケートの結果

その他意見

- ・他の小学校で取り組むICTを活用した実施を、開放運営委員会の負担軽減の観点から拡充してほしい。
- ・予算以外で困っていないが、PTAがなくなると委員のなり手がなくなる恐れがある。
- ・ボランティアへの謝金もあるが、**近隣の善意に頼り過ぎないようにしなければならない。**
- ・報酬はあるものの最低賃金額との差があり、若い世代に受け入れてもらえず、**人材が不足している。**
- ・学校施設にも関わらず、学校教育で利用しない場所とのことで故障などの修理対応してもらえないことがある。
- ・開放運営委員会への参加は難色を示されるが、**施設利用のみの申し出は断っている。**
- ・**学校の施設を借りているので受け入れするか、しないか総合的に判断するのは普通**の流れ。
- ・施設が空いているからといって、利用できるとはならない。
- ・鍵の管理のことがあるので、代表者は小学校区在住、クラブ会員の半数以上が小学校区在住という条件がある。
- ・運営委員会に加入する場合、地域団体（ふれあいまちづくり協議会、青少年育成協議会）の委員を兼ねることとなっている。

学校の開放運営委員会への出席状況

学校からの説明が必要な会議に出席

1

出席していない

13

節目（年度当初等）のみ出席

17

24

開放運営委員会の依頼により出席

出席している

98

都合がつく限り出席

23

多くの学校が会議に参加

学校の利用調整の関与

新規団体登録の時に相談がある

15

21

学校からは行事予定のみ共有

10

相談されることもあるが、基本的に開放運営委員会で調整

59

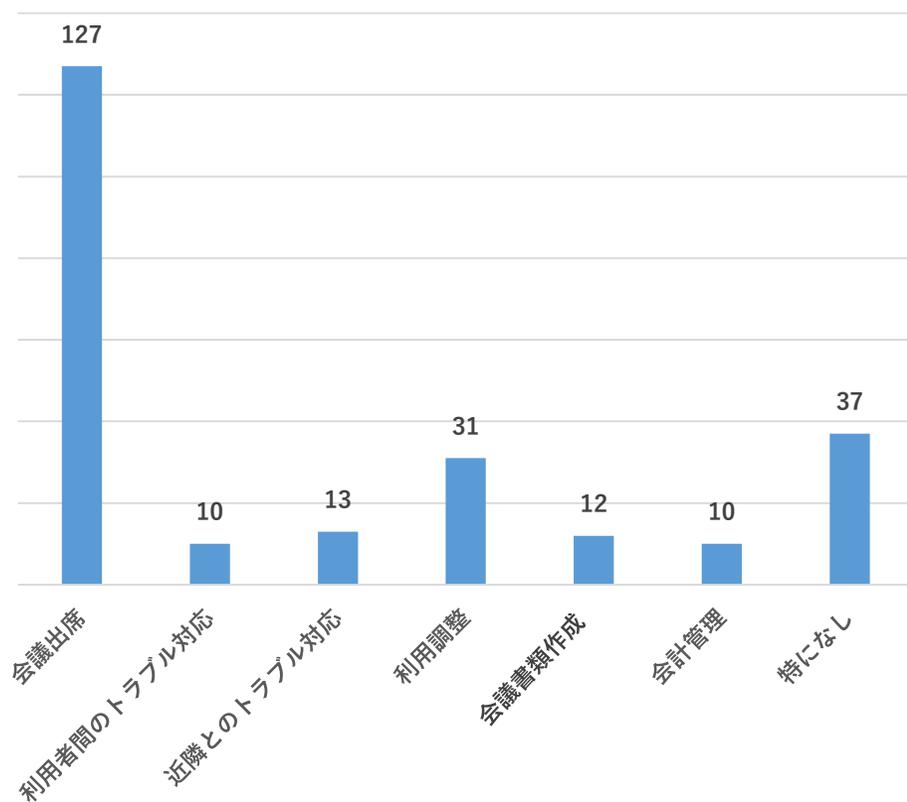
利用している団体が固定

71

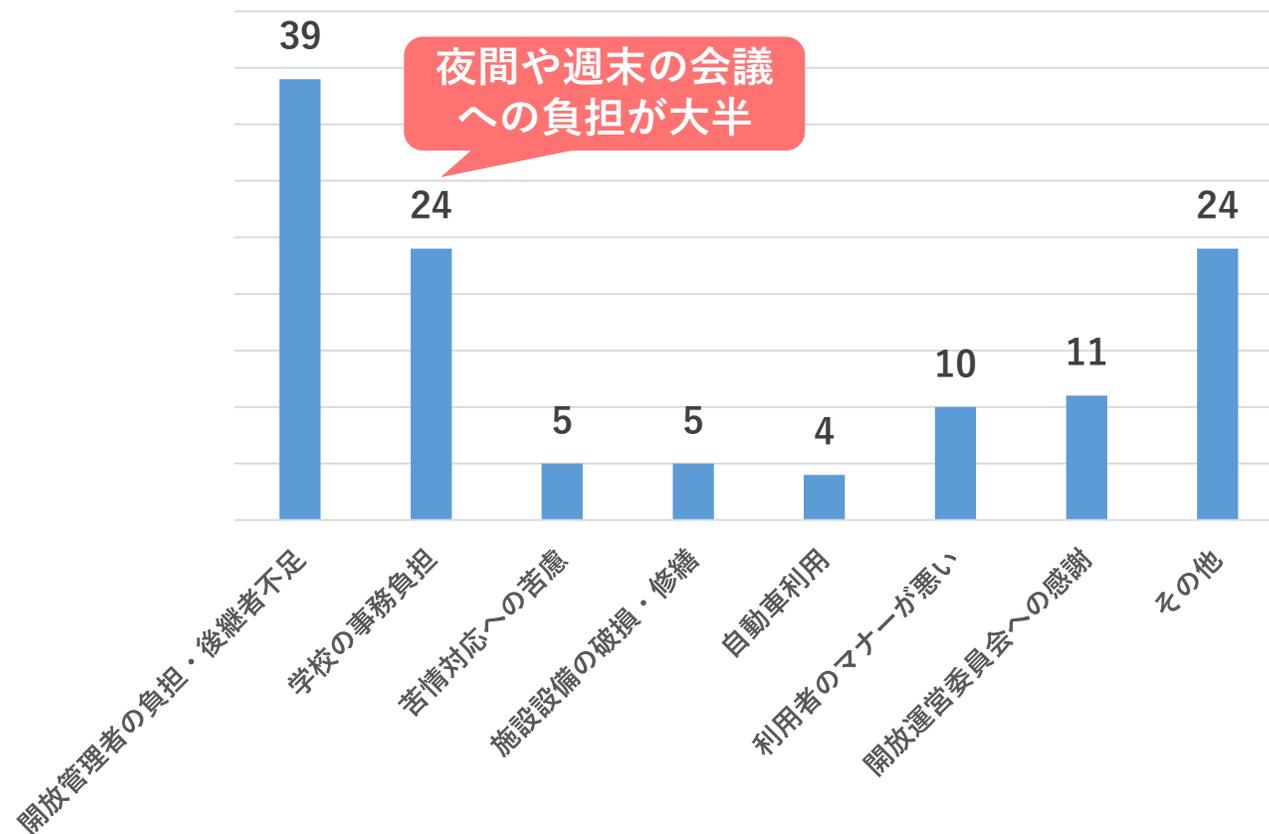
利用団体間で調整している

あまり利用調整に関与していない

学校が負担に感じる項目



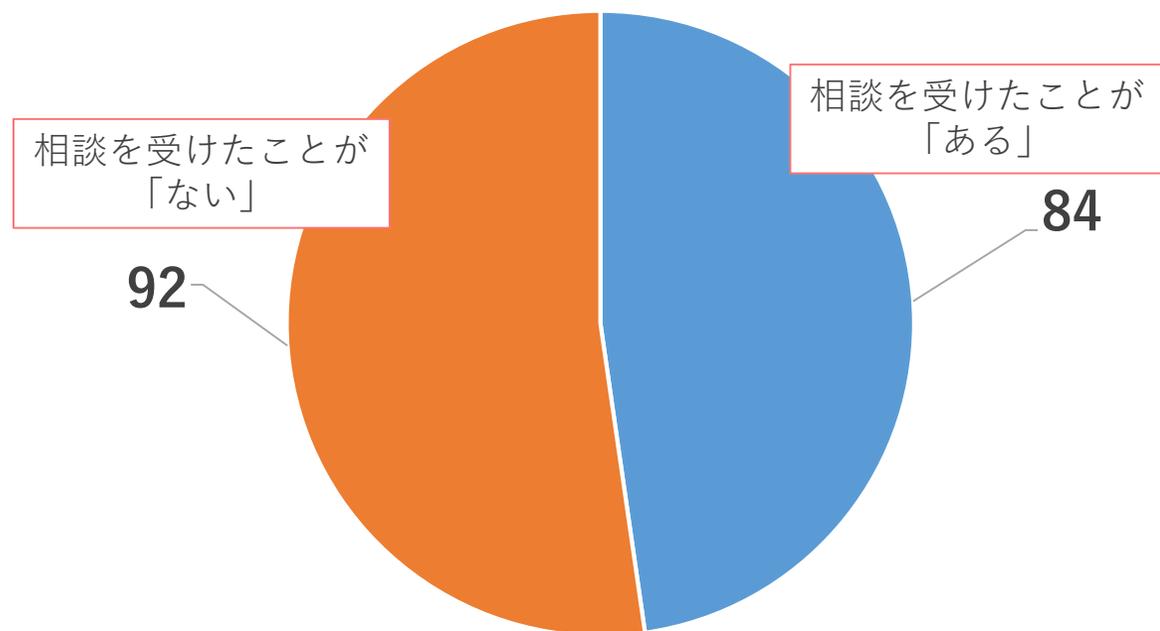
その他意見



会議の負担が大きい（時間帯に課題）

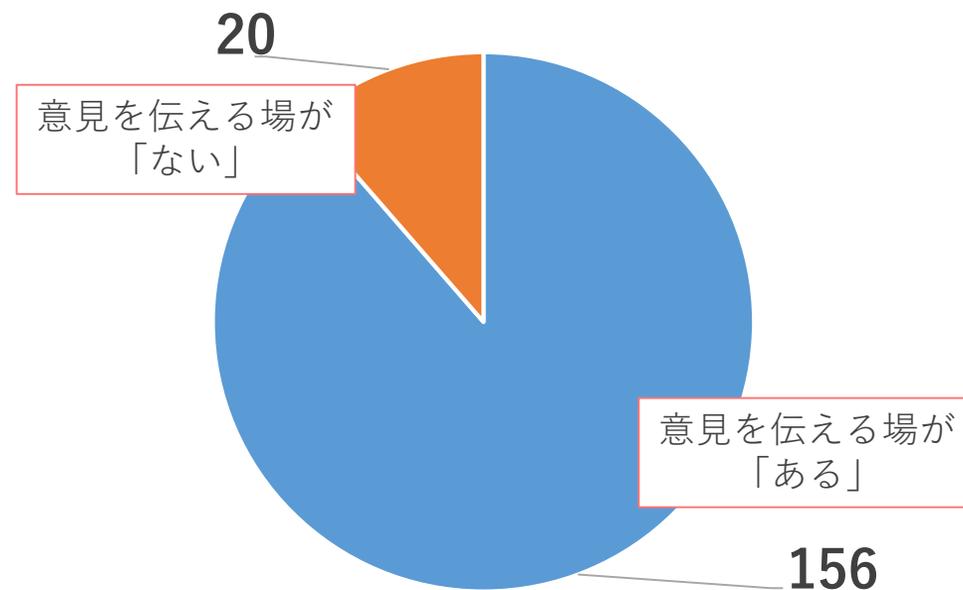
学校アンケートの結果

開放運営委員会運営に関して 相談を受けたことがある



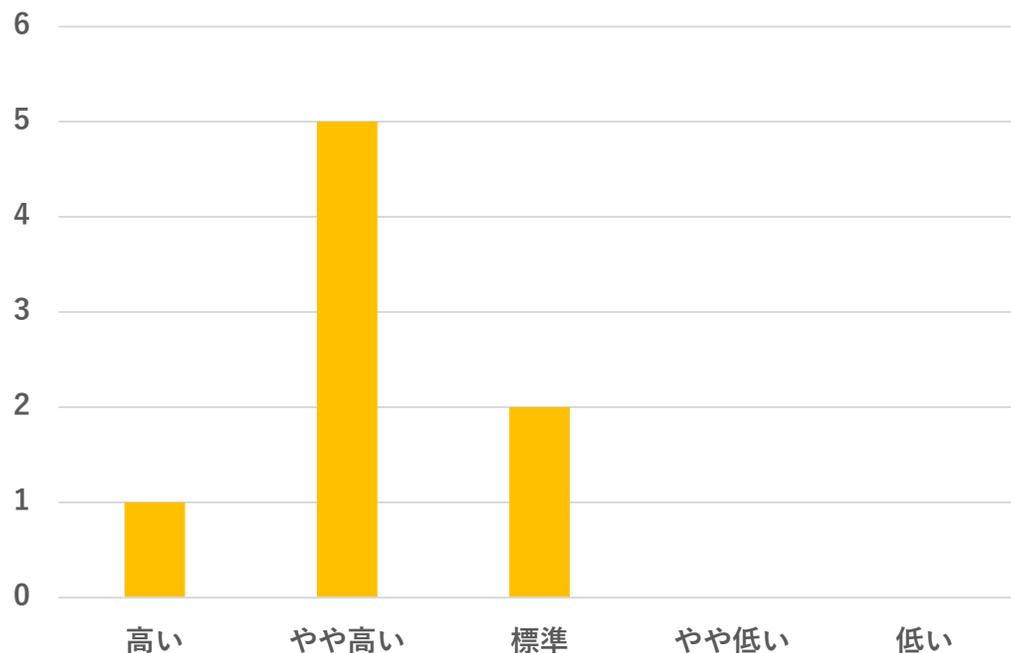
顧問として意見を伝える機会がある

会議出席が意見を伝える場



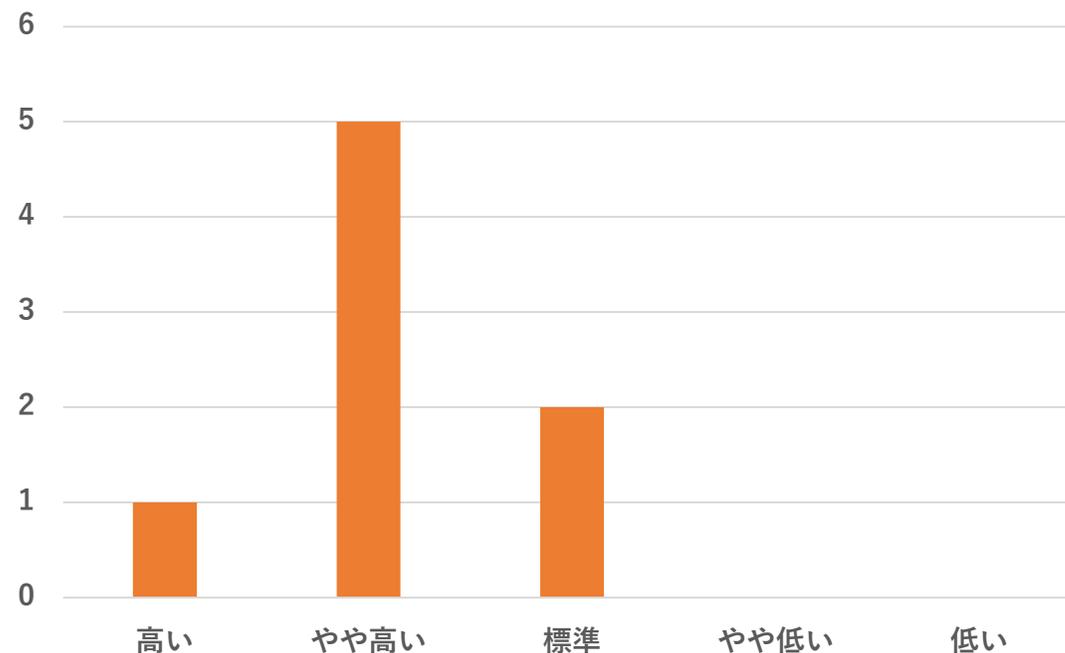
ICTモデル実施アンケートの結果（開放運営委員会（8校））

鍵の管理面における有効性



- ・ さらに負担を軽減するため、施設利用に必要な鍵を一括で管理するためのキーボックスの設置を検討したい

施設の利用促進面における有効性



- ・ 開放運営委員会の既存の団体の活動時間が増加した
- ・ 開放運営委員会に新たな団体の登録を受入れることができた

その他意見（トラブル事例）：一般利用者にクラブの用具を使用した